

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	50%	自校A B層の割合	40%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「共有」の課題と「ジャンプ」の課題を設定する授業の実践 ・子どもたちが安心して学べる環境づくり ・授業の振り返りの時間を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学・英語補習の活用 ・領域診断テストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルドリルの活用 ・家庭学習ノートの習慣化 ・定期考査前の学習計画表の作成および実施
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化させた授業で、安心して「聴き合い」、自己肯定感を高めながら自信をつけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習による「学び合い」や「共有」をすることで自ら学ぶ力をつけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末を活用した、デジタルドリルによる学習習慣づくり
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査において平均正答率を10%向上させ、数学のCD層を20%減少させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・領域診断テスト結果において全教科標準平均51以上を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査における家庭学習の時間、平均1時間以上の生徒の割合を70%に増加させる